

# 教育 ひょうご

発行所 神戸市中央区中山  
手通 4 丁目 10-8  
**兵庫県教職員組合**  
発行人 兵庫県教職員組合  
代表者 川 原 芳 和  
編集人 小 西 宏 典  
電話 050 (3538) 2346  
1 部 15 円 年定価360 円  
(組合員の購読料は  
組合費の中に含む)

2018/5・15  
No. 1952

2 面

・2018年度母女の会  
ハンカチカンパ活動にご協力を  
兵教組のホームページを活用しよう

## 2018年度 兵庫教育文化研究所 第80回運営委員会 第95回研究所員会議 「いきる つながる みちひろく ~自立と連帯・共生の学びと教育~」



**研究所設立40年 教育実践を語り継ぐ**

2018年度兵庫教育文化研究所(以下、本部研究所)第80回運営委員会・第95回研究所員会議が5月11日にラッセホールでおこなわれた。延べ105人の各地域組合代表者・協力研究所員・研究所員ら、延べ133人が参加した。

『自然学校』『トライやる・ウィーク』等の実践・交流をすすめる。③兵庫発の防災読本『いのちやさしさ まなび』の提言にもとづき、東日本大震災・熊本地震での経験もふまえた『防災文化・防災教育』の確立をめざす。④異なる文化や歴史を互いに学ぶ機会を通して『人権・平和・多文化共生の教育』をすすめる。⑤『子どもの権利条約』の理念の具体化をはかるとともに、

### 「開かれた教研活動」をめざして

冒頭、西嶋本部研究所副所長(兵教組中央執行副委員長)よりあいさつがあった(要旨掲載・下段参照)。次に、事務局役職員紹介、大塚事務局長による経過報告・協議事項の提案があり、研究所2018年度のとりくみや、第45回教育課程編成講座、第68次教育研究活動(以下、県教研)推進等について協議、決定した。

その後、「研究所40年のあゆみから」と題して、本部研究所設立40周年記念シンポジウムがおこなわれ

た。(後日要旨掲載予定)最後に、第95回研究所員会議、第1回地域組合教育研究委員会・研究所代表者会議が開催され、各部会ごとに意見交換がおこなわれた。

本部研究所の具体的なとりくみについて、大塚事務局長は、①学力問題を学力調査の平均値や順位によって判断するのではなく、目の前の子どもにとって必要な学力をはぐくむための実践・研究を組織的にすすめる。②実体験を通して『自立と連帯・共生』をめざす

る。③保護者・地域の方々のリポート参加を呼びかけ、「地域の子育て」「地域の教育改革」等について分科会で交流が深められるようにとりくむ。④可能な限り、子どもたちが参加でき、保護者の子育てを支援し、ともに楽しむことができる『読み聞かせ』や『ものづくり』など、子どもが主人公となるフェスティバル的要素を追求する。⑤保護者・地域の方々・働く仲間、そして教職員が手をたずさえて『子育て』の問題等について考えていくた

### あいさつ (要旨)



西嶋副所長

第一部「教育研究活動を語り継ぐ」と、全国教研で「このリポートに学ぶ」としてとりあげられた実践を掲載した。

また、第二部「教育実践を語り継ぐ」を、研究所のこれまでのとりくみをまとめている。

この「40年の歩み」を活用して、研究所が40年間積み上げてきたこれまでの教育研究や教育実践を、次の世代を担う青年層にしっかりと語り継ぎ、さらなる実践につなげていくため、日常的に教研活動や「組合活動の見える化」運動をすすめていくことが重要である。

全国的に見ても、兵庫のように専従の事務局長・事務局次長・副所長の4人を

り、小学校では、高学年の外国語科、中学年の外国語活動が導入された。「特別の教科 道徳」も小学校では検定教科書の使用が始まり、中学校では教科書採択が予定されている。

本部研究所は、このような情勢もふまえ、子どもの権利条約の理念にもとづき、子どもを中心にすえた創造的な教育研究活動を通して、生きる力につながる「ゆたかな学び」を実現する実践をさらにすすめていくようにとりくんでいきたい。

最後に、本会議は、兵教組規約、研究所設置規定にもとづき、今年度の研究計画や研究活動の推進について決定いただく重要な会議である。本部研究所のこれまでのとりくみの意義を改めて確認いただきたい」とあいさつした。

| 第68次県教研 領域別予定分科会一覧               |    |                          |                                  |           |                                |
|----------------------------------|----|--------------------------|----------------------------------|-----------|--------------------------------|
| 領域                               | No | 分 科 会<br>(※は指定分科会)       | 領域                               | No        | 分 科 会<br>(※は指定分科会)             |
| (1) 子どもを中心にすえた<br>わかる授業・楽しい学校づくり | 1  | 日本語教育                    | (2) 地域と手をたずさえて<br>子ども・保護者の願う教育改革 | 12        | 幼年期の教育と保育問題                    |
|                                  | 2  | 外国語教育                    |                                  | 13        | 人権教育※                          |
|                                  | 3  | 社会科教育                    |                                  | 14        | インクルーシブ教育※                     |
|                                  | 4  | 算数・数学教育                  |                                  | 15        | 国際連帯・多文化共生の教育※                 |
|                                  | 5  | 理科教育                     |                                  | 16        | ジェンダー平等教育                      |
|                                  | 6  | 美術教育                     |                                  | 17        | 環境・公害・食教育                      |
|                                  | 7  | 音楽教育                     |                                  | 18        | 平和教育※                          |
|                                  | 8  | 技術・家庭科教育                 |                                  | 19        | 情報社会の教育と文化活動※                  |
|                                  | 9  | 保健・体育                    |                                  | 20        | 評価・選抜制度と進路保障                   |
|                                  | 10 | 総合学習                     |                                  | 21        | 教育課程※                          |
|                                  | 11 | 自治的諸活動と生活指導<br>(小学校・中学校) |                                  | 22        | 学校・地域における教育改革運動<br>小規模・少人数校の教育 |
|                                  |    |                          | 23                               | 教育条件整備の運動 |                                |

に関する、最終的な協議をおこなう。

▼司会者団会議  
を10月30日に、また司会者・共同研究者打ち合わせ会を県教研前日(11月9日)に開催する。

▼第68次県教研の情宣活動を次のようにおこなう、保護者・地域の方々・働く仲間に参加を呼びかける。

①保護者版『教育ひょうご』を各地域組合へ10月上旬に送付する。

②ポスター、チラシ等を製作し、各地域組合へポスターを9月上旬、チラシを9月下旬に送付する。

③各地域組合はポスターを貼付し、チラシの有効活用をはかる。

Lasse Hall

人集い、街華やぐ交流拠点  
2018 Spring

ちさん

産地産フェア

兵庫県産の食材を楽しむ

第二弾

サマーバンケットプラン

2018年6/1(金) ▶▶ 2018年8/31(金)

2時間制  
20名様~

納涼会、同窓会、各種ご宴会に

**お料理 + フリードリンク**

buffet形式にする、料理が一品(おあかせ)追加でさらにお得に!

海コース

お一人様 5,000 円

卓盛りメニュー

●白身魚のエキスパセージュ 兵庫県産ベビーリーフ添え  
●ピーチと兵庫産野菜を使ったジャンクルサラダ  
●サモン海老 兵庫産産物主産物  
●枝豆燗 兵庫産産物主産物  
●豚肉と兵庫産産物主産物  
●兵庫産産物主産物  
●兵庫産産物主産物  
●兵庫産産物主産物  
●兵庫産産物主産物  
●デザート(アップルパイにてご提供)  
●コーヒー(アップルパイにてご提供)

山コース

お一人様 6,000 円

卓盛りメニュー

●兵庫産産物主産物 グリーンカレー風味  
●お造り三種盛り合わせ  
●兵庫産産物主産物 梅おろし風味  
●鶏肉のウィーン風ソース  
●ローストビーフ 二色のソース 兵庫産産物主産物  
●高橋完二種  
●兵庫産産物主産物 穴子と長芋の焼き寿司  
●兵庫産産物主産物 冷やしおろし蕎麦  
●デザート(アップルパイにてご提供)  
●コーヒー(アップルパイにてご提供)

空コース

お一人様 7,000 円

卓盛りメニュー

●和風カブレゼ わさびマヨソース  
●お造り三種盛り合わせ  
●チキンステーキ 兵庫産産物主産物 添え みぞれおろし和え  
●ミートローフ 揚げ鶏肉主産物  
●神戸ポーク サルティンボック  
●牛肉と豆の炒め物  
●兵庫産産物主産物 焼肉と焼き寿司  
●兵庫産産物主産物 冷やしおろし蕎麦  
●デザート(アップルパイにてご提供)  
●コーヒー(アップルパイにてご提供)

フリードリンク

●瓶ビール ●焼酎(麦/芋) ●ウイスキー ●ハイボール  
●赤/白ワイン ●日本酒 ●ウーロン茶 ●オレンジジュース

オプション料理

●にぎり寿司 1,450 円~  
●大福 850 円~  
●そば 600 円~  
●ステーキ 1,450 円~

山コース・空コースだけの特典

●特典として下記の中から1つお選びいただけます(月~木のご利用に限りです)。  
(一文字有給サービス、30分延長サービス、ドリンクアテタイム追加無料、スクリーン&プロジェクター無料、ワイルドラングスプレゼント)

注意事項

※記載メニューは食材の入荷状況により変更する場合がございます。  
※料金は、お料理、フリードリンク、音響・照明費(ワイヤレスマイク2本付)、会場費(2時間)、税金、サービス料が含まれております。  
※ご定員の席は50席につきお一人様500円(低料金・サービス料込)の追加料金をいただきます。  
※当日キャンセルの場合は、全額キャンセル料となります。当日ご利用人数が増えた場合は、別途料金を頂戴いたします。

記載プラン以外にも、ご予算に合わせたプランニングをいたします。また、その他オプション等も多数ご用意しております。お気軽にご相談ください。

ご予約・お問い合わせはこちら 078-291-1110

お問い合わせ時間 平日・土 9:00~19:00 日・祝 9:00~18:00

ラッセホール

〒650-0004  
兵庫県神戸市中央区中山手通4丁目10-8  
TEL.078-291-1117 (代表)  
FAX.078-291-0333  
https://www.lassehall.com  
E-mail info@lassehall.com

ラッセホール

中山手通  
下山手通  
兵庫駅  
兵庫駅西口  
兵庫駅南口  
兵庫駅東口  
兵庫駅北口  
兵庫駅南口  
兵庫駅東口  
兵庫駅北口  
兵庫駅南口  
兵庫駅東口  
兵庫駅北口



## 2018年度 母と女性教職員の会

## カンパ活動にご協力をお願いします

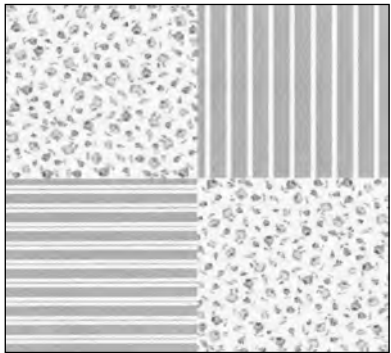
8月1日、2日に「2018年度 母と女性教職員の会・全国集会」が、板橋区立文化会館（東京）にて開催される。

「母と女性教職員の会」は、1954年に「日本の子どもを守りましょう、お母さんの体を守りましょう、憲法を変えないようにしましょう」と日教組が全国に呼びかけて始まり、今年で65年を迎える。

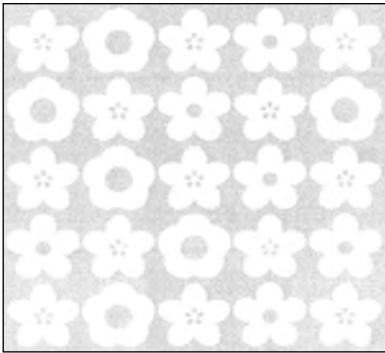
平和の危機、憲法の危機である今こそ、この運動の意義を再確認する必要がある。

「全国集会」への参加資金や、各地域組合の活動資金として、またこの運動を広げるため、標記のカンパ活動にとりくむ。

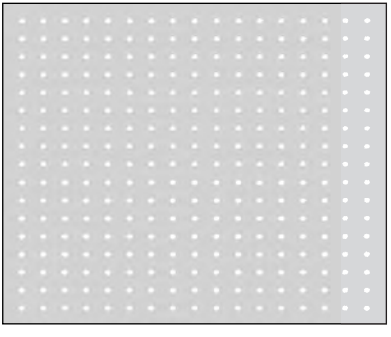
①ハンカチ  
(大判・花柄&ストライプ柄)



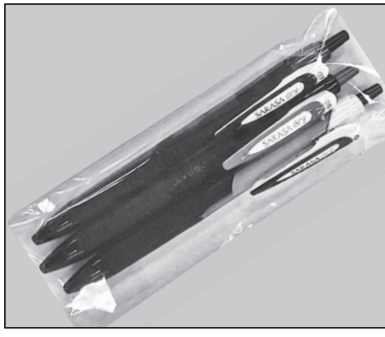
②ガーゼタオルハンカチ  
(オレンジ花柄)



③タオルハンカチ  
(グレートット柄)



④サラサドライ  
3色ボールペンセット  
(黒、赤、青 各0.4mm)



## 母と女性教職員の会とは…

1951年、日教組は、教職を戦場に送った痛恨の思いと平和への願いを込めて「教え子を再び戦場に送るな」のスローガンを決定した。

1952年に大阪で開かれた「子ども婦人博覧会」を契機に、文科省が「女性教員大会」を開くことに対して、日教組は「第1回全国婦人教員研究協議会」の開催を決めた。

そして、1952年3月に大阪市の「中之島公会堂」で集会を開催し、全国から約3,000人が参加した。これが「母と女性教職員の会」運動の始まりである。

1954年1月に開かれた「第3回全国婦人教員研究協議会」では、アピール「日本のお母さんに訴える」を発表した。このアピールを基調に全国の女性教職員がとりくみをすすめて、「母と女性教師の会」運動が始まった。

そして、1975年「国際女



性年」には東京で全国集会を開催し、その後、名称を変更して「母と女性教職員の会全国集会」が開かれていく。

活動の目的は、「①子どもたちの幸せをめざして②女性がいきいきと生きられるように③憲法をまもるために」である。

兵庫でも県および、各地域組合・地区で「母と女性教職員の会」運動にとりくんできた。地域のこととは地域で、全国的な問題は大きく連帯してとりくむことが重要である。

## 1. 兵庫県教職員組合の HP にアクセス



兵教組ホームページ <http://www.hyokyoso.net/>

## 組合員専用ページ



## 2.ID とパスワードを入力



## 兵庫県教職員組合（兵教組）のホームページ

なかでも、組合員みなさんに役立つ情報を数多く紹介しているのが「組合員専用ページ」。

「組合員の権利」や「兵教組の活動を紹介する動画」などに加え、近年は特に教研活動に力を入れ、各教科・課題別教育の研究部会で実践された、授業の指導案・資料も掲載。また、「特別の教科 道徳」や「同和・人権教育」でも役に立つコンテンツも充実している。

まず「兵教組」を検索。HP 画面右下の「兵庫県教職員組合組合員専用ページ」バナーをクリック

「ID、パスワード」の入力ウィンドウが表示される。入力後、組合員専用ページへ

※「ID、パスワード」は各地域組合ごとに違うため、所属の地域組合書記局にお問い合わせを。

## 申し込み

申込書は5月末までに、分会を通じて、各地域組合書記局まで。

## カンパについて

①ハンカチ、3色ボールペンは、各500円

②そのうち、地域組合へのカンパ分50円を除き、

本部納入金額は、**1枚450円**

※申し込みは、各分会で（詳しいお問合せは各地域組合書記局まで）

## 自動車共済・2017年9月1日より制度改定しました！



教職員のための共済だから！

## ■通勤中の事故は等級ダウンなし！

※補償充実コース・6等級以上で1共済期間中1回限り

※既契約に対しても、9月1日以降適用となります

## ■公務使用中の事故も等級ダウンなし！

※全コース・全等級に適用

## ■事故有係数使用の等級割引制度不採用！

多くの損害保険会社や共済で導入されている

「事故有係数」を使用した等級割引制度は採用していません。

ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項等説明書（契約概要・注意喚起情報）をご覧ください、制度内容をご確認ください。

あんしんむすぶ・  
教職員共済

資料請求・お問い合わせは▶

教職員共済生活協同組合  
兵庫県事業所

〒650-0004

神戸市中央区中山手通4丁目  
10-8 ラッセホール4F

電話 (078) 221-9730

FAX (078) 221-1199